

《基本目標3》

新しいひとの流れづくり

●既存の地域資源を有効活用するため、広報やPRなどを積極的にを行い、小野町のことをより多くの方知ってもらい、観光に来ていただけるようなしつけや協力推進体制を構築していきます。

●小野町出身の方(特に若者)が、小野町で暮らしたい、暮らし続けたいと思えるよう、郷土愛を育むとともに、環境の整備を進めます。

●小野町出身ではない人に対して、町の良さをPRし、移住しやすい環境を整備します。

《基本目標4》

未来に向かって安全で安心して生活できるまちづくり

●町民誰もが安全で安心して生活が送れるよう、協働と創意工夫によるまちづくりを進めます。

●広域行政圏において、積極的に連携し、町単独では行いづらい施策・事業に取り組みます。

【必要に応じて見直します】

計画期間を平成27(2015)年度から平成31(2019)年度までとしておりますが、総合戦略の推進に当たっては、事業の効果に重点を置き、「続ける

べきものは続ける」、「見直すべきものは見直す」、「必要なものは新たに取入れる」との考え方を基本とします。役場内の推進体制、小野町議会のみならず、小野町地域創生総合戦略推進会議において各施策の達成度を検証し、様々な意見を取り入れながら随時改善していきます。

【結びに】

国全体を見渡しても、今日までに人口が減少してきた背景には、経済、社会をめぐる様々な要因が複雑に入り組んでおり、人口減少に歯止めをかけることは大きな困難を伴います。また、人口減少対策が出生率向上に結びつき、成果が上がるまでには一定の時間がかかります。しかしながら、対策が早く講じられ、出生率が早く向上すればするほど、その後の出生数が増加し、将来人口に与える効果は大きくなります。

また今後出生率が向上したとしても、数十年間の出生数を決める親世代の人口が転出によって減少することになれば、将来人口の減少がさらに進行することになります。これを防ぐには、安心して働くことのできる環境を整えること、結婚し、子どもを産み育てるという希望をかなえることができる地域社会を実現していかなくてはなりません。

町の現状と課題をしっかりと認識し、

今後5年間の計画である総合戦略を着実に推進することにより、人口減少問題を克服し、地域活力の向上を目指します。

「小野町人口ビジョン」および「小野町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は小野町ホームページでご覧になれます。



小野町地域創生総合戦略推進会議の様子

